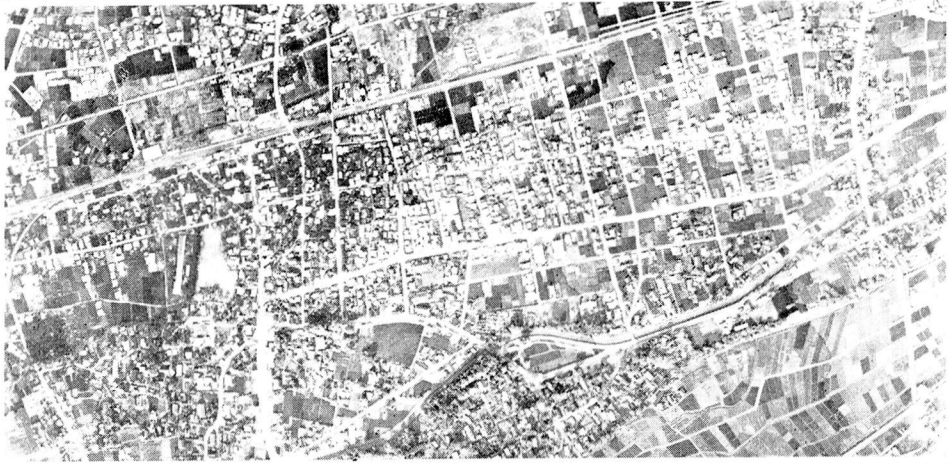


十一月の納税
町都民税
第三期分
十一月三十日まで

ふつ まち こう ほう 福生町広報

発行所 福生町役場
発行兼 福生町役場
編集人 総務課
印刷所 昭和印刷KK

昭和 35 年 10 月 1 日 第 10 号



町制施行20周年



福生町長

瀬古清蔵

町民の総意により、昭和十五年十一月十日に町制が施行されてから、早や二十年の歳月を経過、愛町の念に湧き立つ町民各位の絶大なる御協力によりまして、わが町が今日の隆盛を見せて居りますこと一町民として誠に御同慶のいたりでございます。その間、田陸軍飛行場、終戦後米軍進駐による横田基地の存在は、周囲をして新興都市、や御挨拶いたします。



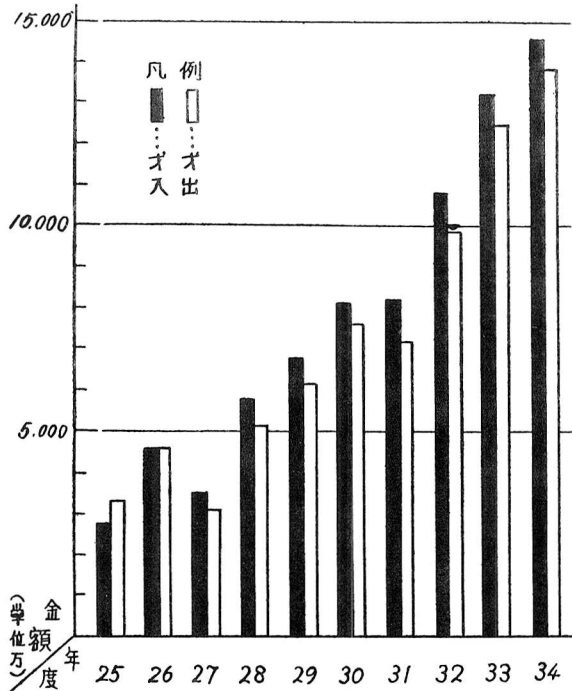
福生町議会議長

高橋彦市

福生町は昭和十五年十一月十日に産声を上げ、早や二十年、地方自治の確立と、首都圏整備計画の下、衛星、文化都市として順調な伸展を続けて居ります。この事は一つに町民皆様の盛り上がる郷土愛のため、福生町の発展のため、一層の御協力をお願いいたします。ここに町制施行二十周年を

福生町のおいたち

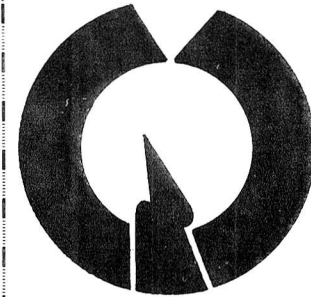
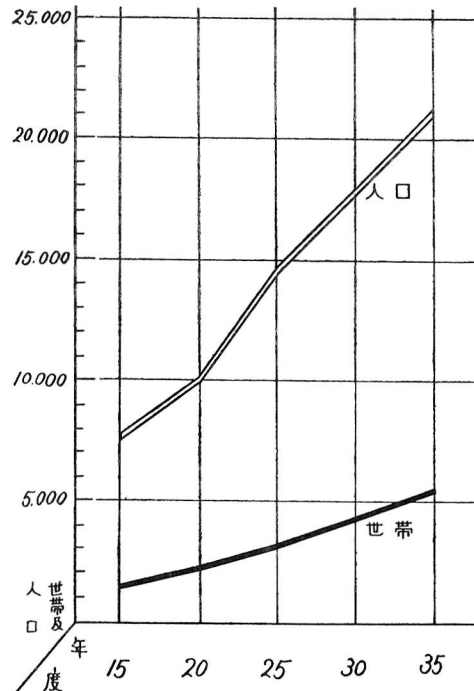
過去10年間の決算状況 (一般会計)



特別会計決算状況 (単位千円)

	年度別	歳入	歳出
上水道会計	昭和30年	8,749	11,044
	" 31 "	19,331	18,639
	" 32 "	33,146	31,959
	" 33 "	19,134	16,034
国保会計	" 30 "	11,178	10,851
	" 31 "	11,893	11,253
	" 32 "	9,563	8,035
	" 33 "	11,234	9,897
賀屋会計	" 30 "	8,921	8,535
	" 31 "	9,464	9,183
	" 32 "	10,386	10,184
	" 33 "	9,658	9,654
と場会計	" 32 "	12,941	12,903
	" 33 "	10,901	10,626
	" 34 "	10,504	10,382

人口の移りかわり



新しい町章

歴代町長

代位	氏名
初代	田村 半十郎
二代	石川 弥次郎
三代	岸 徳次郎
四代	加藤 市蔵
五代	森田 幸造
六代	秋山 誠一
七代	瀬古 清蔵

沿革

福生町は明治二年(1869)山梨県六番組に属し、明治五年(1872)神奈川縣十二区五番組に列し、明治六年(1873)区画改正に依り、第十六区五番組に属し、明治十三年(1878)西多摩郡役所に属して、明治十七年(1892)福生、熊川、川崎、五の神、羽村、五ヶ村と共に川崎村連合戸長役場の下に属していましたが、明治三十二年(1897)町村制施行により、福生村熊川村両村を以て組合役場が設置されました。そして事務の共同処理をしていきました。昭和十五年(1940)十一月十日、福生村、熊川村を廃し、その地域をもつて福生町が置かれて現在に至っています。

当町の都市計画は昭和十八年に立川都市計画の区域に指定されましたが、その後町は急激に発展し独立都市としての形態を整えて来ましたが、昭和三十三年十二月、福生都市計画として、福生、羽村、瑞穂の三町の区域を指定されました。現在首都圏整備法による市街地開発の構想を織り込んだ計画を検討中であり、これが決定致しますと正式に福生都市計画として出発する事になります。町を市街化する為には、街路及下水の整備は特に重要な問題であります。同時に又未開発地域の区画整理等による整備させる事は出来ませんので、町民各位の御協力を切にお願いする次第です。

福生町の都市計画



駅前広場

概況

(一)立川都市計画II-2街路築造については今度東京都が施行する事になり熊川牛浜地区内は今年度中に舗装が完成します。築造りは両側(二)米坂市の後舗装されますが目下用地買収の準備中であり更に第一小学校西側より加美地区迄の築造も測量が終了計画線の検討中であり、本路線の関係者の方々は、大御迷惑の事と存じますが、立川から青梅を結ぶ重要道路でありますので御協力の程御願いたします。

(二)福生駅前広場築造(昭和三十三年、三十四年度)

(三)福生公園造成(昭和三十三年、三十四年度)

(四)II-2街路牛浜地区用地買収及福生橋築造(昭和三十三年、三十四年度)

年表

昭和十五年五月 福生町役場の開庁

昭和十九年七月 埼玉銀行福生支店開店

昭和十九年七月 国鉄青梅線に牛浜駅新設

昭和二十年九月 旧陸軍飛行場に米軍進駐(現横田基地)

昭和二十二年四月 新学制施行による福生中学校の開校

昭和二十三年三月 福生町自治消防団の誕生

昭和二十三年三月 福生町自治警察署の設置

昭和二十三年八月 福生病院の開設

昭和二十三年九月 武陽信用金庫の設立

昭和二十四年六月 行政区画変更の実施

昭和二十四年八月 福生町営グラウンドの竣工

昭和二十四年十二月 福生町国民健康保険法の施行

昭和二十六年三月 都立福生保育園落成

昭和二十六年三月 福生第三小学校の開校

昭和二十六年十月 自治警察、国警移管となる

昭和二十六年十一月 福生町公益質屋の開業

昭和二十六年十二月 青梅線福生駅に東口開設

昭和二十六年十二月 上水道事業の施行

昭和二十八年四月 第一回町営住宅建設事業の竣工

昭和二十九年五月 福生町忠霊塔の建立

昭和二十九年七月 福生町汚物処理場の完成

昭和二十九年七月 国警より都警視庁へ移管される

昭和二十九年七月 西多摩婦人生活館落成

昭和三十年四月 都立多摩高校福生分校開校

昭和三十年八月 福生商店街協同組合設立

昭和三十年十二月 東京法務局福生出張所の開所

昭和三十一年四月 福生第一小学校分校の開校

昭和三十一年十二月 福生公園完成

昭和三十三年二月 町営と場の開業

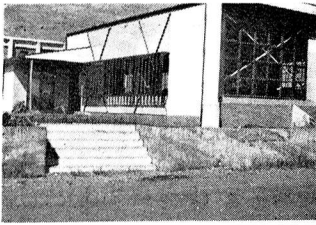
昭和三十三年三月 都立熊川保育園落成

昭和三十三年九月 福生電報電話局の開設

昭和三十四年四月 福生第一小学校分校が第四小学校として独立

昭和三十五年四月 西多摩自治会館の落成

昭和三十五年四月 福生中学校室内体育館の完成



福生町上水道第二 浄水場完成す

昭和二十九年七月、初めて福生町に給水された簡易水道も爾後六ヶ年の間、需要の増大に伴い、その規模も本水道となり、給水区域は福生町一円に達する状態となりました。そこで今迄の水源からの供給量だけではその需要に追いつけなくなり、水道拡張工事五ヶ年計画の三年目当たる本年、牛浜の西多摩自治会館隣りに第二浄水場の新設が急がれていましたが、工費一、一〇〇万円をもつて遂に完成を見ました。この浄水場は牛浜及熊川一円を給水区域とするもので給水可能人口は約一万人を見込み、第一浄水場と併せると二万五千人の給水能力を有することとなります。

コンクール入選発表

七夕祭写真入賞者

推薦 鈴木 秀信
墨田区

特薦 三橋 貞司
八王子市

準特薦 村野 眞
世田谷区

中川 弘
港区

青木 得治
埼玉県

入選 町田徳二外
十一名

佳作 五十名

商店コンクール 入賞店

町長賞 シマダ洋品店

議長賞 竹島履物店

副議長賞 石川呉服店

建設委員長賞 山下 酒店

商店街協同組合
理事長賞 S屋洋装店

優良賞 六 店 舗

努力賞 十二 店 舗

町制施行二十周年記念行事日程

期 日	場 所	行 事 内 容
十月一日	西多摩自治会館	記念式典、自治功労者表彰
九月十八日 十月一日	福生町営グラウンド	町長杯並に体育協会旗争奪野球大会(参加二十九チーム)
十月二日 十月三日	武陽信用金庫 西多摩自治会館 志茂 陸会館	美術、書道、写真華道展、人形教室、バレエ、日本舞踊、その他
十月九日	福生町営グラウンド	町民体育祭 (町内六ブロックに区分)

拠出制国民年金の受付開始

「拠出制国民年金」被保険者資格取得届の受付は十月一日より行なわれます。該当者の方は遅れなくお届け下さい。
受付場所(福生町役場民生課 国民年金係)

町立第三小学校 防音工事竣工する

本町上空を飛行するジェット機の騒音対策として、町立第三小学校に防音装置つき教室が出来上りました。これは全額国庫負担で施工されたもので上期約一ヶ月、工費五百四拾万円をもつて普通教室一七、図書室、計三五坪に於ける防音装置が施工されました。学習に於ける最大のなやみが解消された訳であります。

町章決まる

町制施行二十周年を記念して募集した町章は審査の結果、左のように当選者が決まりました。(当選作は二頁に掲載)

- 当選 宇津木松子 青梅市
- 二等 米津 豊也 福生町
- 荒井 英雄 立川市
- 根岸 駿一 青梅市
- 伊東 明 福生町
- 島田 正明 羽村町

防衛道路(補助道六号線) 舗装工事着工せまる

近く、福生町大字福生九四八番地、一九九一番地間で、その負担割合は、国が四分の三、町が残り四分の一を負担して施工することとなりました。この工事は防衛

10月の 広報こよみ

▽新聞週間(一日～七日)

報道の自由と責任について国民の理解を求める

▽限の愛護デー(十日)

眼疾に関する知識を普及し予防意識を高める

▽貯蓄増強週間(十一日～二十日)

十七日の貯蓄の日を中心に実質的な貯蓄の奨励を期する

▽鉄道記念日(十四日)

国鉄の現状を紹介して国民の建設的意見を求める

▽全国交通安全運動(十六日～二十五日)

運転者歩行者双方に交通安全防止について呼びかける

▽電信電話週間(二十一日～二十七日)

電信電話事業の姿を知らせサービス向上に関する理解を促す

▽結婚予防週間(二十五日～三十一日)

結婚の正しい知識の普及と愛護意識の向上を図る

▽第十四回芸術祭(十月一日)

芸術観賞を通じて国民の文化教養を高める機会とする

ママのお勉強

読書週間
10月9日
ママお勉強だね
ママよりあげたほくのママが
よんでるよ



支出金(国庫補助)を町が費って行うもので、その負担割合は、国が四分の三、町が残り四分の一を負担して施工することとなり、防衛道路と呼ばれています。